



# ほたるっ子

No.9 令和7年12月22日 文責／古屋正樹

## 2学期終了

青空に映える  
ほたるっ子たち



クラスから聞こえる朝の歌もクリスマスソング一色となり、2学期終了も間近となりました。2学期の授業日数は78日間。2学期は1年で1番長く、そして、中身の濃い学期と言われます。その証拠に、子どもたちが楽しみにしている「運動会」「ゲームウォークラリー（児童会活動）」、「校外学習」等があり、全校児童が思いきり楽しんだ時間が思い出されます。数年前は新型コロナウイルスの影響を受け、制限ばかりの学校行事でしたが、今はその心配もなく2学期が通常に実施できたことは何よりの喜びであり、子どもたちが元気に過ごし、毎日の学習や活動に精一杯取り組んだことが何よりの収穫です。各行事や日々の授業・活動は小さくとも、確実に子どもたち一人ひとりの財産になってくれたと信じています。そして、1学期よりも一回り大きく成長したと感じています。

さあ、いよいよ冬休み。子どもたちは、きっとウキウキワクワクしていることでしょう。短い冬休みではありますが、お正月や年末年始といった「冬の風物詩」を大いに楽しんでもらいたいと思います。季節感がなくなりつつある現在、少しでも冬の伝統を感じてほしいと思います。そして、6年生は、小学校卒業→中学校入学という大きな節目に向かいます。自分の小学校生活が思い出深い、大切なものとなるよう、残りの3か月を大切にしてほしいと思います。他学年児童も次学年へのステップを見据えて、誰もが「有意義な冬」にしてほしいと思います。それでは、1月9日3学期始業式に、元気な(^\_^\)(^\_^\)(^\_^\)で会いましょう。

# ～～～百聞は一見に如かずの校外学習から～～～

## 2年生「お店探検」

生活科の一環でお店探検を行いました。西条地区5店舗（カインズホーム様、AOKI様、ティンカーベル様、釣具のキャスティング様、東京インテリア様）のご協力の下、お店の工夫や願い、苦労などを学んできました。たくさんの保護者の皆様のご協力も得ながら、充実した学びとなりました。ありがとうございました。



## 4年生「杉浦醫院見学」

社会科で学習した地方病（日本住血吸虫病）やその治療に尽力した杉浦先生親子（杉浦醫院元医師）について、現地で学びを深めました。当時のままに残されている病院施設に、子どもたちは驚きを隠せませんでした。私たちの身近にこんなにも偉大な方がいらっしゃったことは、とても名誉なことです。



## 6年生「狂言ワークショップ」

国語の教科書にも載っている狂言。古典芸能のワークショップ（学習会）を通して、狂言で使われる独特な言い回しや動作（舞）、狂言の魅力を、体験を交えてわかりやすく解説していただきました。「百聞は一見に如かず」。教科書から学ぶことと違い、「本物」の持つ力は計り知れません。難しいと思われた狂言も、意外と身近に感じられるものでした。



\*画像は一部修正あり

## 「児童会役員選挙」

来年度の児童会役員を決める選挙が行われました。未来の有権者たちは、立候補する側も投票する側も真剣そのものでした。思いを熱く語る立候補者と責任者、そして、熱い視線を送る投票者、その姿と体育館の空気に、早くも来年度の児童会活動が楽しみに感じられました。世の中では政治離れが進んでいるといわれていますが、ここ西条小は違いました。



◎ 「冬至(とうじ)」 2025年もあとわずか。今日22日は二十四節気の一つ「冬至」です。冬至は「冬の頂点」といわれ、1年で最も昼の短い日になります。実際に甲府では、その日の日照時間は9時間半程になり、夏至(6/21)に比べ5時間程短くなります。昔から太陽の出ている時間が一番短いことから、太陽の力が一番弱まる日とされ、その翌日から再び太陽の力が強まる（日照時間が長くなる）ことから、「太陽が生まれ変わる日」とも捉えられています。そして、この頃には、ゆず湯に入ったりカボチャを食べたりといった昔からの習わしもあり、夏からの疲れた体と冬の寒さに向かう体へのいたわりの意味があります。さしつけめ1年間頑張ってきた心と体へのご褒美といったところでしょうか。皆様、1年間お疲れさまでした。